

株式会社 IDR への事業承継投資実行

— 事業承継プロセスの引継ぎ支援事例 —

AJ キャピタル株式会社

<http://www.ajcap.co.jp/>

株式会社あおぞら銀行（代表取締役社長兼最高経営責任者（CEO）：谷川 啓、本店：東京都千代田区）と、日本アジア投資株式会社（代表取締役社長：下村 哲朗、本社：東京都千代田区、以下「JAIC」）が共同設立したファンド運営会社である AJ キャピタル株式会社（以下「当社」）は、無限責任組合員として運営する事業承継ファンド「サクセッション 1 号投資事業有限責任組合」（以下「当ファンド」）を通じて、2021年6月30日に、広告宣伝物・パッケージ等の企画・制作会社である、株式会社 IDR（本社：東京都港区、代表取締役：土倉瑞生、以下「IDR」）の全株式をココン株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：倉富佑也、以下「ココン」）より取得し、事業承継致しました。

今回の投資が当ファンドにとって、第4号案件となります。

当ファンドが事業承継した IDR は 1978 年に設立されたデザイン会社で、リアル領域のグラフィック・パッケージ等のデザインに強みを有しておりますが、昨今はデジタル領域の WEB サイト、WEBムービー等の制作まで手掛け、アナログ・デジタル両領域のデザインをクライアントに提供しております。IDR は、広告業界でデザイン能力の高さが評価され、主要取引先は日本有数の日用品メーカーや大手広告代理店等と、安定的な事業基盤を有しておりますが、事業承継問題の解決のため、2018年9月にサイバーセキュリティ事業を手掛けるココンに株式が譲渡されました。その後ココンが事業の選択と集中を模索するなかで、2020年に創業者が退任し現社長の土倉氏へ代表権が委譲されて間もない IDR の事業承継プロセスを引き継ぎ、新経営陣へのスムーズな体制移行を支援するため、当ファンドが投資実行いたしました。

今回の事業承継投資により、当社では IDR が課題とする更なる成長に向けた内部管理体制構築、採用活動の強化及びその後の人材育成体制の拡充などをサポートし、あおぞら銀行並びに JAIC の有する顧客基盤を活用した支援を併せて実施し、次世代への円滑な事業承継を進めてまいります。

当社は全国の地域金融機関と連携し、従来の投資ファンドではあまり投資対象として検討しなかった、企業価値で10億円未満のスモールキャップゾーンを投資ターゲットとする事業承継ファンドを運営しています。今後も、地域経済の核となる中小企業の事業承継を、当ファンドを活用して支援し、円滑な事業承継を推進することを通じて、地域創生や地域活性化に貢献し我が国経済の発展に寄与していく所存です。

< IDR について >

商号	株式会社 IDR
所在地	東京都港区北青山 2-10-28
代表取締役	土倉 瑞生
設立	1978 年
資本金	10 百万円
事業内容	広告宣伝物の企画・制作・広告代理業、雑誌類の編集及び出版・オリジナル商品の 企画・制作・販売

< 当社について >

名称	AJ キャピタル株式会社
所在地	東京都千代田区九段北三丁目 2 番 4 号
代表取締役社長	小林 正行
設立年月日	2018 年 4 月 24 日
資本金	20 百万円 (含む資本準備金)
株主構成	あおぞら銀行 50%、日本アジア投資 50%

< 当ファンドについて >

ファンド名称	サクセッション1号投資事業有限責任組合 (英文表記 Succession Investment Limited Partnership, I)
所在地	東京都千代田区九段北三丁目 2 番 4 号
ファンド総額	30 億円
ファンド設立日	2017 年 6 月 26 日
無限責任組員	AJ キャピタル株式会社
有限責任組員 (五十音順)	あおぞら銀行、日本アジア投資、愛媛銀行、きらやか銀行、東和銀行、 鳥取銀行、富山銀行、北都銀行、宮崎太陽銀行、ゆうちょ銀行、他金融法 人、F P G
主な投資対象	日本国内の事業承継問題を抱える中小企業

以 上